

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1386
施設名	タムスわんぱく保育園荒川
施設所在地	荒川区荒川5-31-7 朝日信用金庫東尾久支店3・4階
法人名	社会福祉法人春和会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界 (5歳児)

<テーマの設定理由>

日頃から保育室内にある様々な楽器に触れる中で「どんな音がするのかな?」と音に興味をもったり、曲に合わせて演奏することを楽しむ姿見られていた。  
スモールワールドツアーの事前学習の取り組みの中で、外国の文化や世界の音楽の面白さに気付き、楽器を使って自由に表現している様子から、音や世界に対する関心を広げていきたいと思った。

## 2. 活動スケジュール

- 1.様々な楽器に触れてみよう!どんな音がするかな?(5月)
- 2.日本の文化を学ぼう、伝統的な楽器(10月)
- 3.世界の国について知ってみよう(12月)
- 4.世界の音楽に触れ、楽器を使って自由に演奏してみよう(2月)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

いつでも楽器に触れることができるように、を保育室内に設置した。  
(常設していた楽器の種類:マラカス、カスタネット、鈴、ギロ、トライアングル等)  
万国旗・世界地図を飾ったり、子どもが手の届く場所に絵本や図鑑を置いた。  
スモールワールドツアーの事前学習の一環で電子黒板を使用し、世界について調べた。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- 1.様々な楽器に触れてみよう  
保育室内にある楽器に自由に触れ、どんな音がするのか発見を楽しむ。
- 2.日本の文化を知ろう、伝統的な楽器に触れてみる  
日本の文化や伝統的な楽器があることを知り、興味を深める。
- 3.世界の国について知ってみよう  
日本以外の外国の文化について興味を持ち、調べる。
- 4.世界の音楽に触れ、楽器を使って自由に演奏してみよう  
世界の国の文化や音楽に触れ、楽器を使って自由に表現してみよう。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

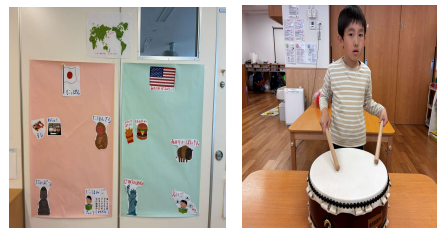
#### 【様々な楽器に触れてみよう】

保育室内にある楽器に興味を持ち、自由遊びの中で音を鳴らしてどんな音がするのか友だちに伝えたり、保育者が弾くピアノの音に合わせて自由に音を鳴らすことを楽しんでいた。



#### 【日本の文化を知ろう、伝統的な楽器に触れてみる】

「日本ってどんな国だろう」「昔から日本で親しまれている楽器はなにがあるかな？」などスモールワールドツアーの事前学習の中で学びを深めていきました。本物の和太鼓を目にすると「真ん中を叩くと、ドンって音がするけど、周りはカッ！って音がする」などと鉢を当てる場所によって音の違いがあることに気付き、友だちや保育者に伝える姿が見られた。



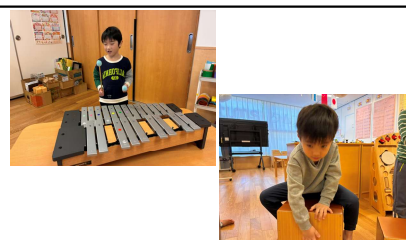
#### 【世界の国について知ってみよう】

日本から世界に向け視野を広げ、アメリカやスペイン等の国の文化について気になることを調べ、まとめてみることにしました。有名な食べ物やスポーツがあることを知ったり「どっちの国も英語を話すんだね」などと共通の言語があることに気付く姿も見られた。その姿から、調べてみたい言葉を書きだし、外国語を調べる活動へと発展していった。



#### 【世界の音楽に触れ、楽器を使って自由に演奏してみよう】

スモールワールドツアー開催にあたり、事前学習が進んでいく中で、その国で親しまれている音楽に興味をもち、鉄琴やバスウッドドラムカホン等の楽器を使って音楽に合わせて自由に演奏することを楽しんでいた。「鉄琴は雨が降るみたいに静かできれいな音がするね」「バスウッドドラムはカホンと形が似てるけど音が違うね」などと楽器ごとの音色の違いに気付く姿も見られた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの手が届く場所に楽器セットを置いたことで、興味を持ったタイミングで音を鳴らすことができたり、音楽に合わせて楽しく演奏する姿へとつながり、音を身近に感じる上で環境づくりの大切さに気付かされた。

スモールワールドツアーの体験が、日本だけでなく世界の国の文化や音楽に興味をもつきっかけとなり、自由に表現することのおもしろさや「もっとやってみたい！」という探究心を育む機会になったと感じた。今後も子どもの関心を引き出し続けるような環境作りや活動を考えていきたい。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1386
施設名	タムスわんぱく保育園荒川
施設所在地	荒川区荒川5-31-7 朝日信用金庫東尾支店3・4階
法人名	社会福祉法人春和会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界（3歳児）

<テーマの設定理由>

昨年度は子どもたちの「音」への興味から、音楽に繋がり、様々な楽器に興味を持ち探求心に繋がりました。その中で、英語遊びを通して世界の歌やメロディーに興味を抱き、様々な歌やリズムに触れ、表現の仕方などに興味関心を抱くようになった為、更に深められるようテーマを広げました。

## 2. 活動スケジュール

- 6月 身近な音探し、楽器遊び
- 7月 第1回スモールワールドツアー（英会話教室の中の取り組み）
- 8月、9月 楽器遊び
- 10月 第2回スモールワールドツアー
- 12月 第3回スモールワールドツアー
- 2月 第4回スモールワールドツアー
- 3月 楽器遊び

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<準備した素材や道具>

- ・昨年度から馴染みのある楽器（タンバリン・鈴・カスタネット）や新たな楽器（トライアングル・ギロ・ウッドブロック等）を用意した。

<環境の設定>

- ・保育室内の玩具、段ボール、棚を叩いて、音の再現や音の違いを見つけられるよう保育者が声掛けした。
- ・スモールワールドツアーでは、事前学習としてその国の国旗や食文化等を知る機会を作った。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

###### 【身近な音探し】

保育室内にある物を使って音を再現する活動を行った。

###### 【楽器遊び】

馴染みのある楽器を用意し、楽器の使い方を伝えてから音を鳴らしたり、リズムに合わせて演奏したりした。徐々に楽器を追加し、リズムに合わせて演奏したり、楽器に対する知識を増やしたりできるようにした。

###### 【スモールワールドツアー】

講師からその国の言語、食文化や動物、建物等について教わった。また、その国の代表的な曲を流して踊ったり、リズムに合わせて楽器を演奏したりした。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### 【身近な音探し】

ブロック等の玩具を叩き合わせて音を出したり、ままごとのフライパンを太鼓に見立てて叩いたり子どもたちが日頃から音に興味を持っていた為、身近な音に気付き、様々な音に興味を持つことを目的に行った。保育室内にある玩具、段ボール、棚、テーブル等を叩いて、散歩時に聞いた電車や車の音の再現をする姿が見られた。また、音の大きさの違いや叩き方で音が違うことに気が付く児もいた。「電車の音みたい！」等と保育者に報告したり、友達に共有する姿も見られた。



###### 【楽器遊び】

タンバリン、鈴、カスタネット等の馴染みのある楽器から始め、好きな楽器を選んで音を鳴らすことを楽しんだ。楽器遊びを行う前には楽器の使い方を伝え、大切に扱うことが出来るようにしたり、楽器を鳴らす楽しさを感じられるよう保育者も一緒に楽しんだりした。トライアングル、ギロ、ウッドブロック等、徐々に楽器を追加すると、様々な楽器に興味を持ち、演奏する姿が見られた。「音が違うね」「大きい音がするね」等、音の違いに気が付き、曲によって楽器を変える児もいた。ピアノに合わせて「タン・ウン」「ウン・タン」のリズムを繰り返すことで、少しずつリズムを取ることが出来るようになった。



###### 【スモールワールドツアー】

事前学習でその国の特徴や文化を知ったことで、興味関心を持ち、意欲的に参加する姿が見られた。講師から食文化や動物、スポーツ、建物等の写真カードを見せてもらったり、その国の代表的な音楽に合わせて踊ったり自由に楽器を演奏したりした。「綺麗な音だね」「音が似ているね」と鉄琴やバスウッドドラム、カホン等の楽器を使い、その国で親しまれている音楽に興味を持って演奏していた。ツアーを通し、世界に興味関心を持つことが出来た。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

・音探しから音に興味を持ち、楽器遊びに楽しんで参加することが出来た。初めは音を鳴らすことを楽しんでいて、徐々に楽器による音色の違いやリズムに合わせて演奏することの楽しさに気が付き、意欲的に取り組む姿が見られた。保育者がピアノで曲を弾くと、曲に合わせて演奏することにも興味を持って取り組むことが出来た。

・スモールワールドツアーを通して外国人講師との出会いは子どもたちにとって多くの経験や学びに繋がったと感じる。世界の国の文化や音楽に興味を持つことができ、自由に表現する楽しさを感じる事が出来たように思う。

・活動を重ねるごとに子どもたちの音への気づきがあった。楽器遊びから世界に興味が広がり、「もっと知りたい」という探究心にも繋がっていったように感じる。子どもの気づきを見付けたり、関心が持てるような活動や環境作りを行っていくことの大切さを学んだ。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1386
施設名	タムスわんぱく保育園荒川
施設所在地	荒川区荒川5-31-7 朝日信用金庫東尾久支店3・4階
法人名	社会福祉法人 春和会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界(2歳児)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

昨年度は子どもたちの「音」への興味から、音楽に繋がり、様々な楽器に興味を持ち探究心に繋がりました。

その中で、英語あそびを通して世界の歌やメロディーに興味を抱き、様々な歌やリズムに触れ表現の仕方などに興味関心を抱くようになりました。

更に深められるようにテーマを広げました。

### 2. 活動スケジュール

1. 楽器に興味をもつ(保育室内に楽器スタンドを常設) (5月)

2. 楽器の使い方を知り、慣らしてみる(6月)

3. 親しみのある童謡に合わせて楽器を鳴らす(7月～10月)

4. 世界の音楽に親しむ(11月～1月)

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

◎楽器を保育室内に常設。6月から徐々に種類を増やしていった。

・カスタネット ・タンブリン ・鈴 ・シェイカー ・マラカス

・アゴゴ ・カバサ ・クラベス ・エナジーチャイム ・ギロ ・ウッドブロック

◎国旗の絵本を出し、子どもたちが興味を持った国の音楽がすぐ流せるようデッキを保育室内に準備した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

1. 楽器に興味をもつ
2. 楽器の使い方を知り、慣らしてみる
  - ・音の鳴らし方、扱い方を見せて知らせる。
3. 親しみのある童謡に合わせて楽器を鳴らす
  - ・音楽を掛け、その音楽に合わせて楽器を鳴らす楽しさを感じられるように音を鳴らすことを一緒に楽しむ。
  - ・音楽を流しておき、好きなタイミングで楽器を鳴らせるようにする。
  - ・楽器を奏でながらそれぞれの楽器が持つ音の違いに気付かせ、また日常にも音が沢山あることを知らせ、日常にある音にも気付けるようにする。
4. 世界の音楽に親しむ
  - ・日本語、英語の歌だけでなく、フラメンコやサンバなど、各国の音楽を流し、音楽に合わせて楽器を鳴らしたり体を動かすことを楽しめるようにする。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・楽器として扱い、音色を楽しむ子がいる中、強く叩いたり投げたり、落とす等して楽器を扱う子がいたため、都度使い方について鳴らして見せて知らせていった。
- ・曲によって鳴らす楽器を変える姿が見られ、音の違いや曲調の違いに気付く姿が見られるようになった。



- ・日常で音が聞こえてきたときに「カシャカシャ」や「バンバン」等と擬音で表現することが増え、保育者や友だちと擬音を言って楽しんだり、「先生、今日見つけた音、これに似てる」と音が似ている楽器を探したりした。



- ・ABCの歌を好んで歌う児がいたため、ABCソングや英語の曲を流すと、アルファベットへの興味や英語の音楽への広がっただけでなく、丁度幼児クラスでワールドツアーの試みが始まったこともあり日本以外の様々な国に興味をもつ姿が見られるようになった。
- ・ある児の「スペインの音楽掛けて」という言葉をきっかけに国旗の絵本を見ながら、アメリカやブラジルなど各国の音楽に合わせて自由に体を動かしたり、曲調に合う楽器を子どもなりに考え、都度変えながら鳴らす姿があった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

室内に楽器を常設したことで、子ども自身が自分の好きなタイミングで気に入った楽器を選んで鳴らしたり、音楽を流しておくことで様々な音楽に触れながら2歳児なりに遊びながらリズムを取る楽しさ、友達や保育者と合わせる楽しさを味わうことが出来たと感じた。

子どもの様子からその時の子どもの興味や気づきを捉えて適切に援助をしていったことで、楽器遊びから世界に興味を広がり、遊びや子ども自身が見える世界が広がっていった。そのことから、子どもの気づきをどれだけ見付けられるか、またそこからどう発展させていくかによって子どもが得られる体験がどれほど大きくなるかに気付かされた。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1386
施設名	タムスわんぱく保育園荒川
施設所在地	荒川区荒川5-31-7 朝日信用金庫東尾久支店3・4階
法人名	社会福祉法人春和会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界の楽器（1歳児）

<テーマの設定理由>

昨年度は子どもたちの「音」への興味から、音楽に繋がり、様々な楽器に興味を持ち探求心に繋がりました。その中で、身近なものの音遊びや楽器遊びを通して、様々な歌やリズムに触れ、表現の仕方などに興味関心を抱くようになった為、更に深められるよう、テーマを広げました。

## 2. 活動スケジュール

- 1.音の鳴る玩具で遊んでみよう（5月）
- 2.廃材遊び（7月）
- 3.水遊び（7月、8月）
- 4.音探し（10月）
- 5.落ち葉遊び（11月）
- 6.楽器遊び（2月、3月）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

玩具、廃材、水、落ち葉 など。

季節にあった自然物や身近にある素材や玩具に着目し、活動に取り入れた。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

##### 1.音の鳴る玩具で遊んでみよう

玩具に触れ、音を鳴らすことを楽しむ。

##### 2.廃材遊び

廃材に興味を持ち、感触や感覚を楽しむ。

##### 3.水遊び

水に触れながら自由に遊び、言葉や身振りで表現をする。

##### 4.音探し

身近にあるものから出る音に気付いて表現する

##### 5.落ち葉遊び

落ち葉をちぎったり、踏んだりすることを楽しむ。

##### 6.楽器遊び

楽器に触れ、世界の楽曲を知る。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

##### 【音の鳴る玩具で遊んでみよう】

振る、転がす、叩くなどをすると音が鳴る玩具を用意し、子どもたちが自由に触れて遊べるよう見守った。最初は音を表現する姿は見られなかったが、保育者がどんな音が聞こえるのかを問いかけると、「シャカシャカ」と言葉で音を表現したり、保育者の耳元で音を鳴らしてみたりする姿が見られた。



### 【廃材遊び】

気泡緩衝材や牛乳パックを使い、廃材遊びを行った。特に緩衝材に興味を持つ児が多く、保育者の真似をして「プチプチ」と言いながら触れて楽しむ姿が見られた。牛乳パックを使っ  
ての遊びでは、長く繋げた牛乳パックの上を歩き、足裏の感触やバランス感覚を楽しんだ。  
歩くと音が鳴ることに気付き、「カタカタ」と表現する児の姿が見られた。



### 【水遊び】

ペットボトルを使ったシャワーに触れ、「ザーザー」「雨だ」などの表現をしていた。保育  
者がヨーヨーに水鉄砲で水を掛けると、不思議そうにじっと見たり、「ザー」と言葉で表現  
したりしていた。また、氷遊びでは、タライの中でかき混ぜる音や、上から落とすと鳴る音  
に気付き、「カラカラ」と表現していた。



### 【音探し】

机や玩具のかごを叩いて音を楽しむ子どもの姿から、「他にどんなものがあるかな？」と問  
いかけてみると、おままごとの鍋をひっくり返して叩く姿が見られた。手で叩くと音が出な  
かった為、保育者から井形ブロックで作った棒を渡すと、夢中になって音を鳴らしていた。  
一人が遊んでいると、段々と周囲の子どもたちもフタやカップを用いて鳴らすことを楽しん  
でいた。また、「おもちゃのチャチャ流して」と子どもから提案し、音楽に合わせて鳴  
らす姿も見られた。



### 【落ち葉遊び】

戸外遊びの際、落ち葉があることに気付くも、初めは触れてみる姿は見られなかった為、保育者が実際にちぎって見せ、興味が持てるよう促した。遊び方を知ると、「くしゃくしゃ」と表現しながら勢いよく葉を丸めたり、「ビリビリ」と声にしながちぎったりして楽しんでいた。また、落ち葉の上でジャンプをし、足で踏んづける感覚や音を楽しむ遊びへと発展していった。



### 【楽器遊び】

遊びの中で鈴を使い自由に鳴らしたり、世界の楽曲に合わせて音を鳴らしたりして楽しんだ。自由に鳴らす際には、「シャラシャラ〜」と表現する児が多く、音楽に合わせている際には、「何の歌？」と興味を持ったり、リズムを取ったりして音を鳴らす児の姿が見られた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・活動を重ねるごとに、子どもたち自ら「音」という視点に気づき、簡単な言葉や身振りで表現する姿が見られていたことから、子どもたちの気付く力や表現する力の凄さを実感した。
- ・言葉がまだ少ない児も「ぱっ」と擬音を口にしたり、手を使って表現したりする姿があった為、保育者は子どもたちそれぞれの小さな表現に気づき、共感を楽しむことが大切であると感じた。
- ・季節の自然物や廃材を活動に取り入れることで、感触や感覚を楽しみながら「音」に触れることができた。また、日常から「音」に触れていくことで、自然と世界の楽曲にも興味を持ち、楽しむことができたのではないかと思う。



# A change of mind

～音と世界が育む子どももの成長～

# ～4歳児らくだ組の子どもたち紹介～

- 担任2名 非常勤職員2名
- 女児4名 男児6名 計10名(うち加配児2名)

## 【進級してすぐのクラスの雰囲気】

- 個性豊かで賑やかなクラス！
- 体を動かして遊ぶことが大好き！公園では必ず鬼ごっこ！
- 製作も大好き！絵の具はもちろんハサミで工作も！



# 保育者から見た子どもたちの 気になるところ…

- 物事への関心が薄く、分からないと感じたことをそのままにしている
- 各々が自分の意見を主張し、話し合いは一方通行…話をまとめるのは難しい
- 加配児H児→一つの物事に対する集中力が続かない  
思い通りにいかないことに関して激しく癇癢を起こし、気持ちを立て直すことが難しい
- 加配児S児→自分の興味のあるもの、好きなものに関しては積極的に取り組むことができる  
一方で…興奮すると自分本位で行動し、ルールのある集団遊び・行動は難しい

## 日常にあふれている音を探そう！

- ・散歩に出かけた際に電車の音を「ガタンゴトン」と擬音で表現する児がいた
- ・年下児と公園に出かけ、一緒に遊んだ時にも電車や車の擬音を表現しながらコミュニケーションを取ることを楽しんでいた
- ・そういえば…  
保育室で自由遊びをしているときブロック同士を叩き合わせて音を出すことを楽しんでいる児がいる！

# 日常にあふれている音を探そう！

身近なものを使って  
好きな音を再現する活動を  
取り入れたら面白いかも！



# 日常にあふれている音を探そう！



段ボールを叩いて電車の音を表現



ラップの入れ物にペットボトルのキャップを入れて 風の音を表現



# 日常にあふれている音を探そう！



そんな楽器があるんだ！  
今度、飾りもつけて本物みたいに作ってみたい！

段ボールを叩いて電車の音を表現



マラカスっていう楽器みたいだね

の  
の音を表現



# オリジナル楽器を作りたい！



オリジナル楽器作りをする中で、子ども発信のやってみたい気持ちが芽生え始め  
「〇〇と××を使って作りたいんだけどどう？」と聞いてくるようになった

★分からないと感じたことを保育者に聞くようになり、物事への探究心が増えてきた



**スモールワールドツアー  
で世界へ旅に出よう！**

# スモールワールドツアー

内容: 国の国旗や言葉、文化、有名なものについて講師から紹介  
民謡曲や音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、踊ったりする



⇒日本以外の国について知り、世界への興味が広がった

⇒楽器を使って国の曲に合わせて演奏したことで、「この楽器やりたい」と子どもから声があがった

# 楽器遊びの導入として・・・

○保育者の思い:正しく使う上で楽器に対する知識や興味を深めて欲しい!



楽器そのものへの理解 / 楽器の歴史について  
を話していくことに・・・

★導入として世界に触れながら楽器の紹介をしてみると、より世界への興味が広がった子どもたち★

⇒地図を見て、国の場所や国旗・地名を子どもたちで調べ始めるようになった

⇒各国の言語で覚えた言葉を日常で使う姿が見られるようになった

# 楽器遊び

様々な音階や音の強弱に興味を持ち、好きなように鳴らすことを楽しむ子どもたち



次は、「たん・うん」「うん・たん」のリズムを使って曲に合わせてみよう！！

すると・・・親しみのある曲に合わせて演奏する中で、  
一定のリズムで演奏ができた瞬間が訪れる

音が同じで素敵！！  
たのしい！！



音が揃うことに心地よさを感じられるようになっている！

★今度は全員で「たん・うん」「うん・たん」のリズムで音を揃えることを目標とすることに★



おうちの人やお友だちが  
皆がステキな演奏ができると知ったら  
びっくりしそうだね



他の友だちにも聴いてもらいたい！！

おうちの人や他クラスの友だちに見てもらえる機会として、わんぱく発表会を紹介した

**発表会で演奏を披露することに！！**

# 内容、役、楽器…どうやって決める？



—変更点—

動物たち→世界の国の人々

小屋でごちそうを食べておしまい→ごちそうを食べて演奏会に向かう

## ▪ 役決め

2グループに分け、全員が自分の気持ちを伝え合い、話し合って決めた

ブラジル



フランス

## ▪ 楽器決め

やりたい楽器が同じ…

→互いにどうしてその楽器を演奏したいのか理由を伝え合う

→納得して折り合いをつけられた

# 発表会に向けて練習する子どもたち



## 使った楽器

- ★木琴
- ★鉄琴
- ★トライアングル
- ★バスウッドドラム
- ★カホン
- ★クラベス
- ★ダブルホーン

子どもたちからのアイデアで  
担当している楽器のリズムを  
友だち同士で教え合うことに！

次はここを叩くよ！

# ドキドキの発表会本番！



みんなでいただきます！

こんにちは！ はろー！ ぼんじゅーる！  
おら！ あんにょんはせよ！ にーはあ！



# 子どもたちの成長

- ★様々な事柄に対して疑問を持ち、調べるようになった！
- ★自分たちで話し合いながら物事を決められるようになった！
- ★加配児H児→ 思い通りにならなくても受け入れられるように！
- ★加配児S児→ 周囲を見て行動できるようになった！



# 保育者として大切なこと…

意欲を引き出し  
環境設定を充実したものにする



経験を積み重ねる